
黒い嵐（ブラックテンペスト）

野獣な人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ブラックテンベスト
黒い嵐

【Nコード】

N8444B

【作者名】

野獣な人

【あらすじ】

これは戦乱の世に嵐のように現れ、そして消えた者達の物語である。

プロローグ（前書き）

これはA C初心者の私が書いた小説です。
多少表現がおかしい部分がある事を了承したうえで読んでください

プロローグ

暗い闇夜の遙か遠方に、花火の如く光が明滅している。何も知らない者がこの光景をみれば美しい、と言っただろう。

しかしこの光は命の光でもある。光が消えれば命も消える。そう、この光の明滅は戦争の光景だ。

「作戦の進行具合は？」

不安定でノイズが走りながらも、無線から男の声が聞こえる。

「上々です、隊長」

また別の男の声が聞こえた。

「よし、このまま進撃し、敵部隊を強襲する。復唱！」

無線から怒鳴るような声が聞こえた。

「このまま進撃、敵強襲！」

それに負けじと同じ大きさの音が無線が響く。

「よおし、行くぞ！」

ACが3機、MTが5機、戦車10両からなる強襲部隊が遙か遠方の戦場に向かい進軍を始めた。

その同時刻…。

「ッ！リーダーに反応！敵、こちらに真っ直ぐ来ます！」

若い男の声で無線が響く。

「やはりこっちに来るか…。予定通りだ」

低い調子の声が響く。

「さて、ちゃっちゃと終わらせますか」

気楽な調子の声が聞こえる。

「では、これより作戦を開始する。作戦内容は敵強襲部隊の撃退。戦法確認！」低いが厳しい口調の音が無線から響く。

「私が遠距離からの援護を」

若い男の声が聞こえる。

「俺は隊長の後について残りの敵を」

先程の気楽な調子とは違った凜々しい声が聞こえた。

「うむ。では、作戦開始！」

「了解！」

黒いACが3機、暗い闇夜に溶け込むように立ち上がる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8444b/>

黒い嵐（ブラックテンペスト）

2010年10月28日03時43分発行